

# 株式会社 三栄興業

## 会社概要

所在地 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347  
連絡先 TEL048-955-1632/FAX048-952-5543 URL: <http://www.misato-net.com/3ak>  
資本金 2,000万円  
事業内容 産業廃棄物収集・運搬・中間処理 リサイクル

## 東大柏ベンチャープラザにおける事業概要

ポリプロピレンはプラスチックの中でも最も多く生産されているプラスチックです。これからも金属やセラミックスなどの他の材料からの代替として市場が拡大していくと期待されています。その一方で、ポリプロピレンは他の素材との接着や塗装性に劣る材料です。この欠点の改善はポリプロピレンの更なる市場拡大に必要不可欠な技術です。弊社はこのようなプラスチックの欠点をプラスチックの化学構造から改善することを目的としています。

## コア技術

### ・ポリプロピレンの精密熱分解

ポリプロピレンの熱分解反応を制御することで、両末端に二重結合を持つ末端反応性ポリプロピレンを効率よく合成できる技術を日本大学理工学部との共同研究において、開発してきました。

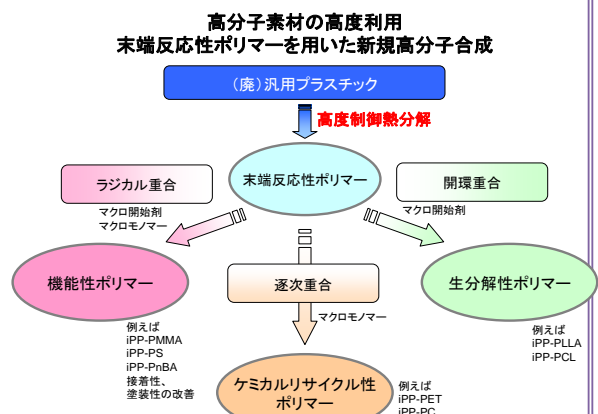
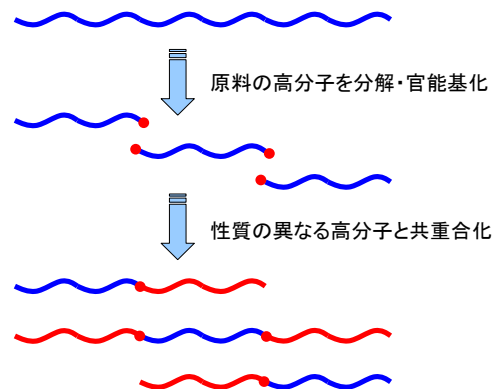
### ・末端反応性高分子を用いた高分子反応

高分子の末端基の官能基変換を行うことで高分子の特性を変化させることができます。ヒドロホウ素化反応、エステル化反応、チオール-エン反応などにより様々な官能基を高分子に付与できます。

### ・末端反応性高分子を利用した新規高分子の合成

末端反応性ポリプロピレンを用いた新規高分子材料開発において蓄積してきた様々な高分子反応、高分子合成反応を活用して新規高分子材料の合成しています。

## 事業展開



### ・ポリプロピレンーポリ乳酸共重合体

代表的な植物由来プラスチックであるポリ乳酸との共重合体はポリ乳酸の硬くて脆い欠点を補うことができます。

### ・ポリプロピレンーポリアクリル酸(ナトリウム塩)共重合体

現在、市販されているポリエチレンアイオノマーよりも高融点の新規アイオノマーとして期待されています。

### ・新規末端反応性高分子の合成

現在、日本大学理工学部との共同研究により、様々な末端反応性高分子の合成を行っています。